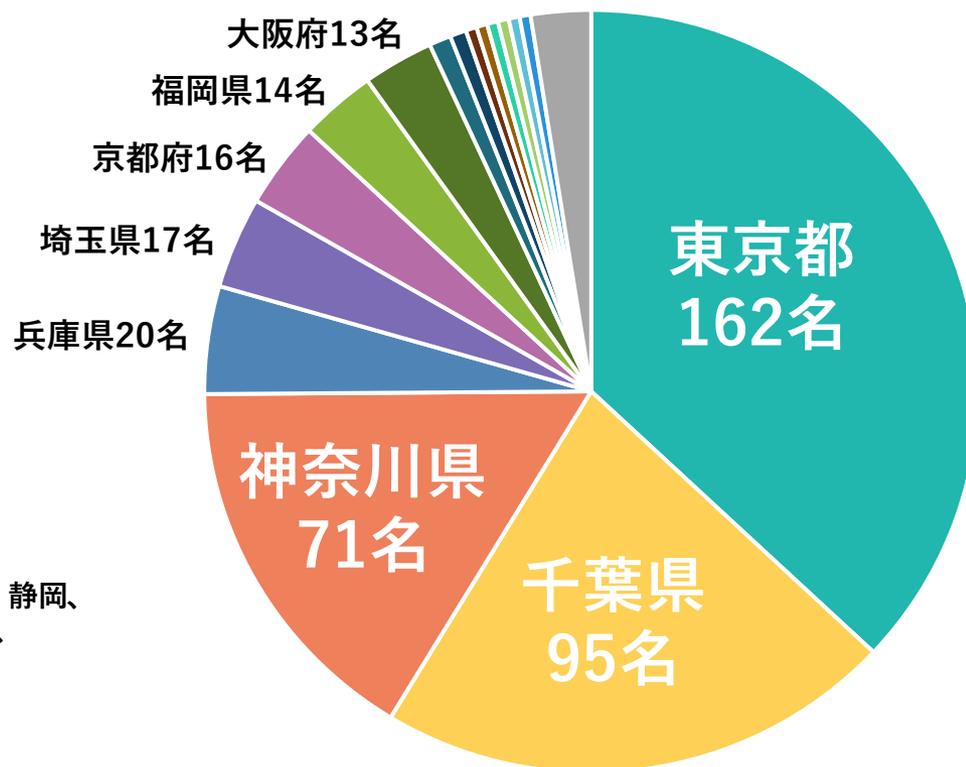


**【小学生の保護者対象】  
休校中の学びに関するアンケート結果**

**2020.5.7**

## 【休校中の学びに関するアンケート 概要】

- 実施期間 : 4月27日（月）～4月30日（木）まで
- 調査方法 : インターネットでのアンケート調査（SNSにて広報）
- 対象 : 休校中の小学生のお子さんを持つ保護者の方
- 総回答数 : 438件



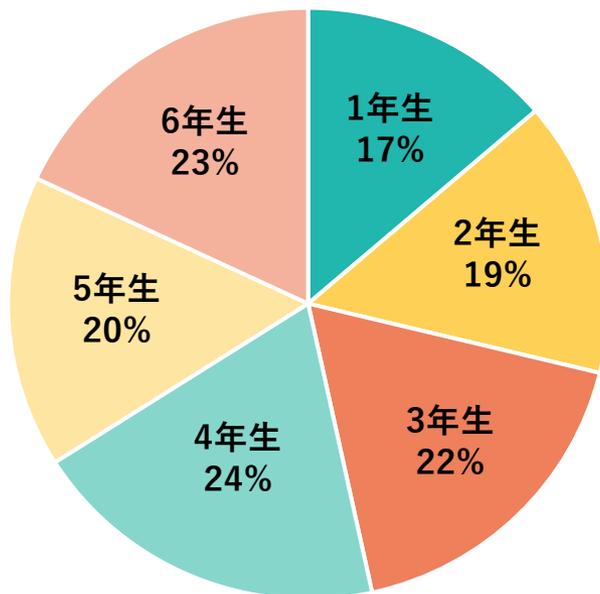
N=438

### 回答者居住地域

※回答者数1人の地域（山形、栃木、長野、静岡、三重、愛知、和歌山、長崎、佐賀、鹿児島、無回答）はその他

- 東京都
- 千葉県
- 神奈川県
- 兵庫県
- 埼玉県
- 京都府
- 福岡県
- 大阪府
- 新潟県
- 広島県
- 宮城県
- 北海道
- 沖縄県
- 岡山県
- 茨城県
- 群馬県
- その他

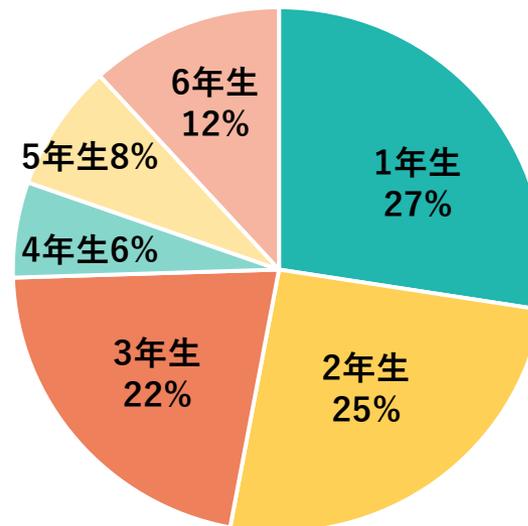
## お子さんの学年



N=438

■ 小学1年生 ■ 小学2年生 ■ 小学3年生 ■ 小学4年生 ■ 小学5年生 ■ 小学6年生

## ご兄弟の学年

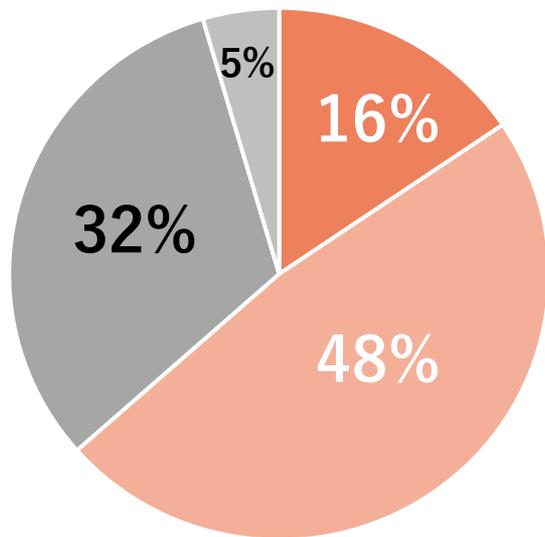


N=138

■ 小学1年生 ■ 小学2年生 ■ 小学3年生 ■ 小学4年生 ■ 小学5年生 ■ 小学6年生

全体の **64%**が休校期間中にストレスを感じている  
“友達や先生と会いたい”

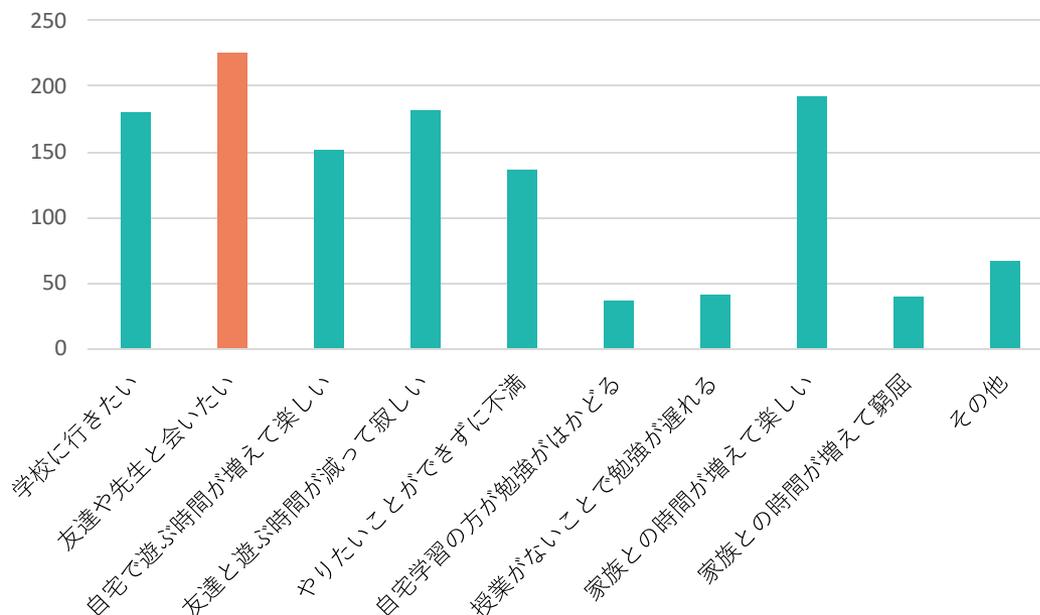
## ・子どものストレス状況



- ストレスを抱えている
- 少しストレスを抱えている
- あまりストレスを抱えていない
- 全くストレスを抱えていない

N=438

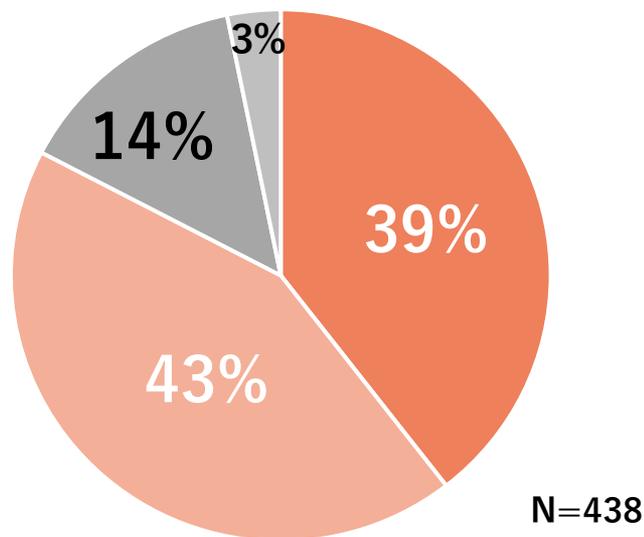
## ・左記回答の理由（複数回答）



N=438

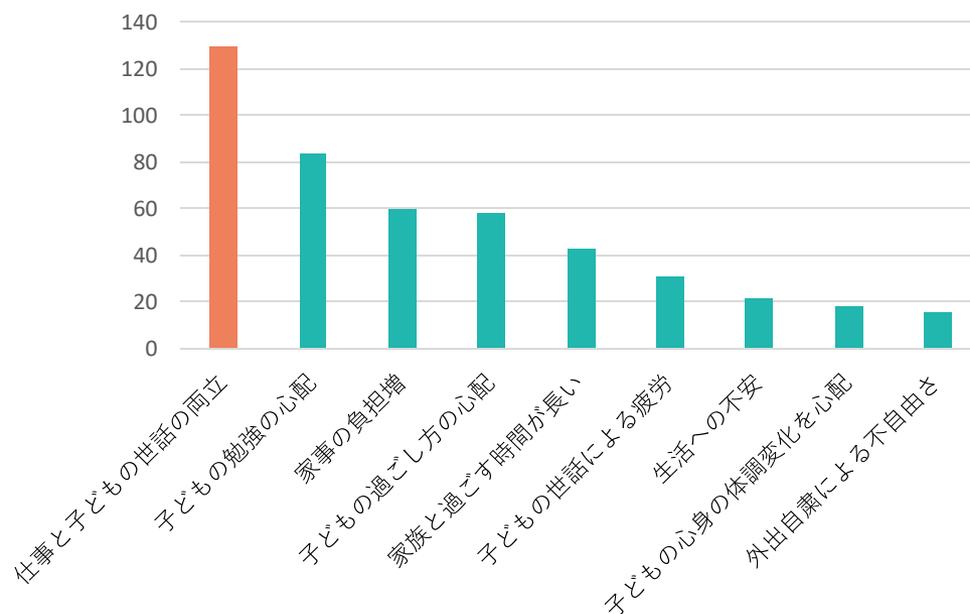
全体の**8割以上**が休校期間中にストレスを感じている  
“仕事との両立”や“学習面含め全て家庭任せ”に苦難

## ・保護者のストレス状況



- ストレスを抱えている
- 少しストレスを抱えている
- あまりストレスを抱えていない
- 全くストレスを抱えていない

## ・ストレスを抱えている方の主な回答の理由 (フリーアンサーより分類)

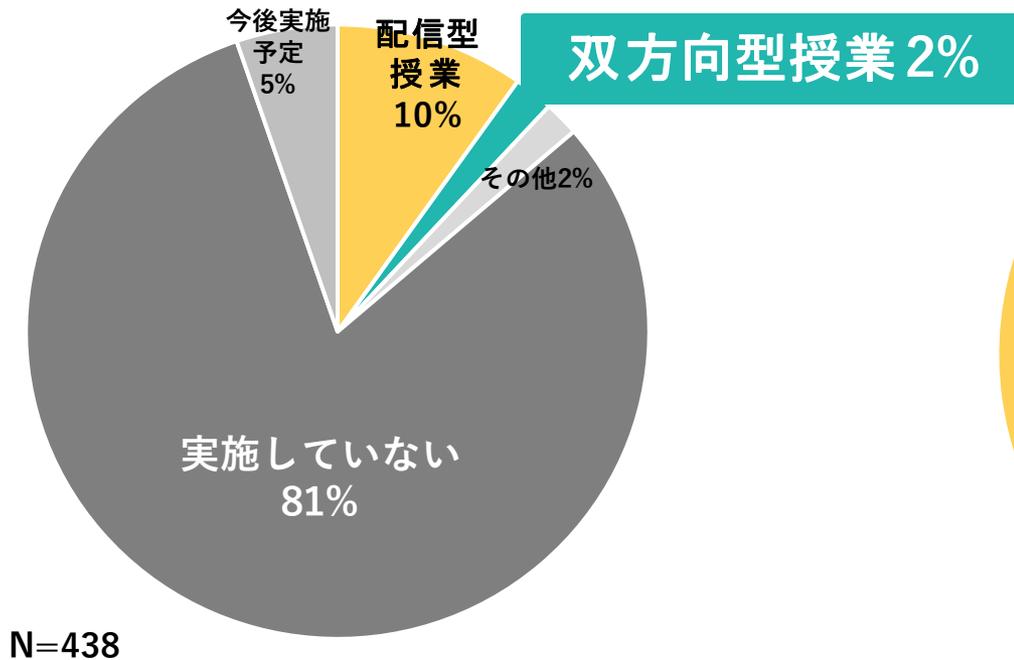


特に低学年のお子さんがいらっしゃる場合、**子どもにつきっきりになる保護者自身の負担感が大きく、**  
高学年になるとより**勉強面や生活環境の変化による子どもへの心配**が大きい傾向

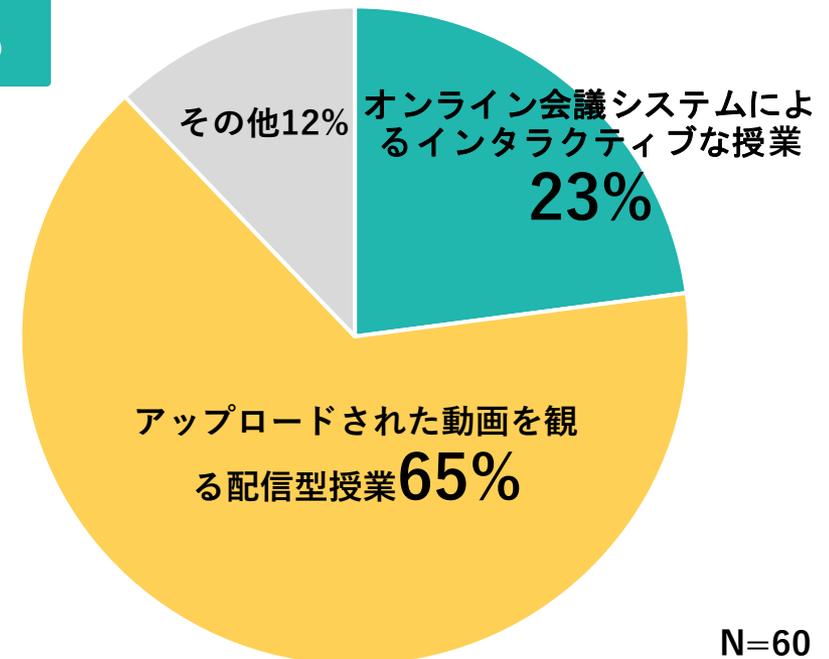
## オンライン授業実施状況

オンライン授業の実施率はわずか**14%**。動画配信型にとどまっているケースが多く、双方向は全体の**2%**のみ

### ・オンライン授業の実施状況

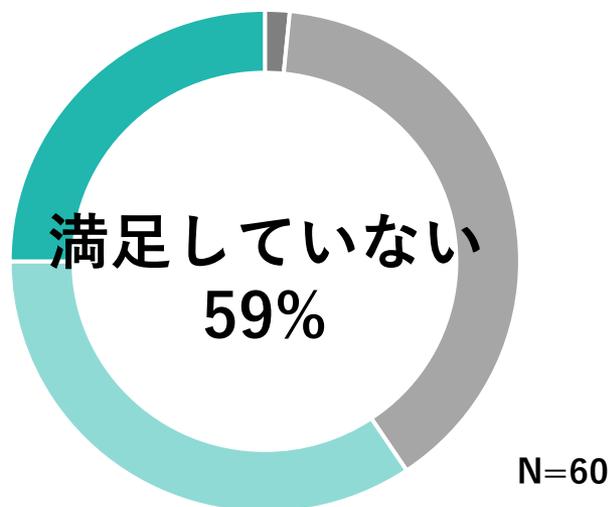


### ・オンライン授業方法（実施中の方対象）



全体の約 **6割** が現在の授業に満足していない。  
“多角的なコミュニケーション不足”により  
子どもの気づきや学び機会につながらないという意見が多い

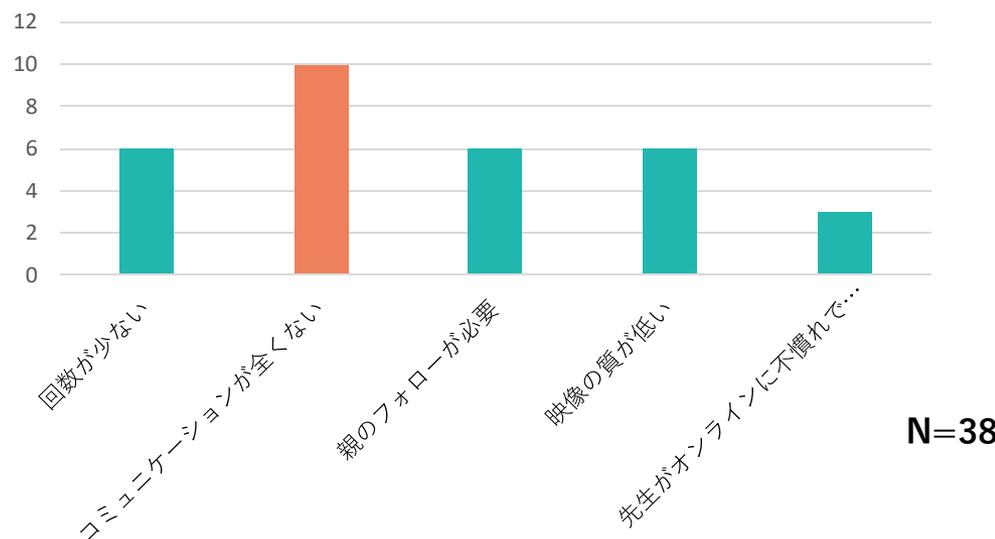
## ・満足度



- とても満足している
- まあまあ満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

## ・満足していない主な理由

(フリーアンサーより分類)

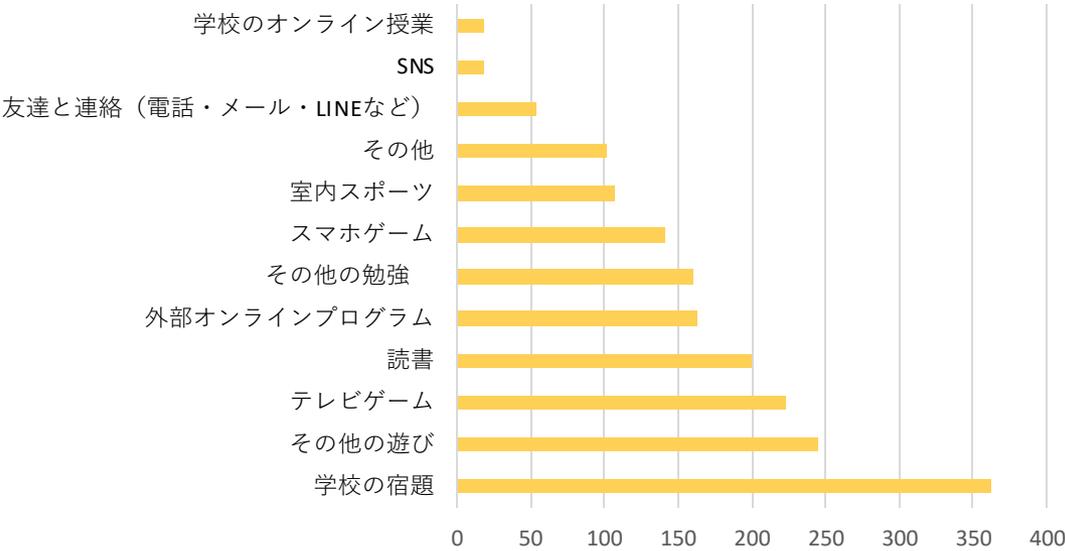


## 保護者の声

マンツーマンでのオンライン授業は、横のつながりが希薄になりがちだと思います。  
クラスの面白い誰かや賢い誰かの発言が授業を面白くするし、  
学業以外の面で学校で友達と過ごして得ることははかりしれない。  
今しばらくそういう体験が出来ていないことに焦ります。(神奈川県横浜市)

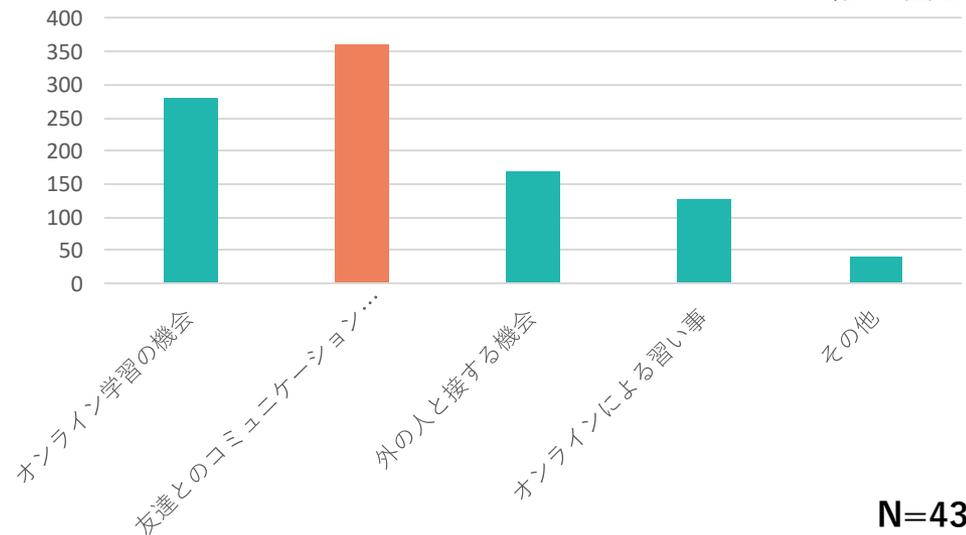
# 子どもの過ごし方

## 【日中の過ごし方】(複数回答)



## 【今、子どもに必要なだと思うもの】

(複数回答)

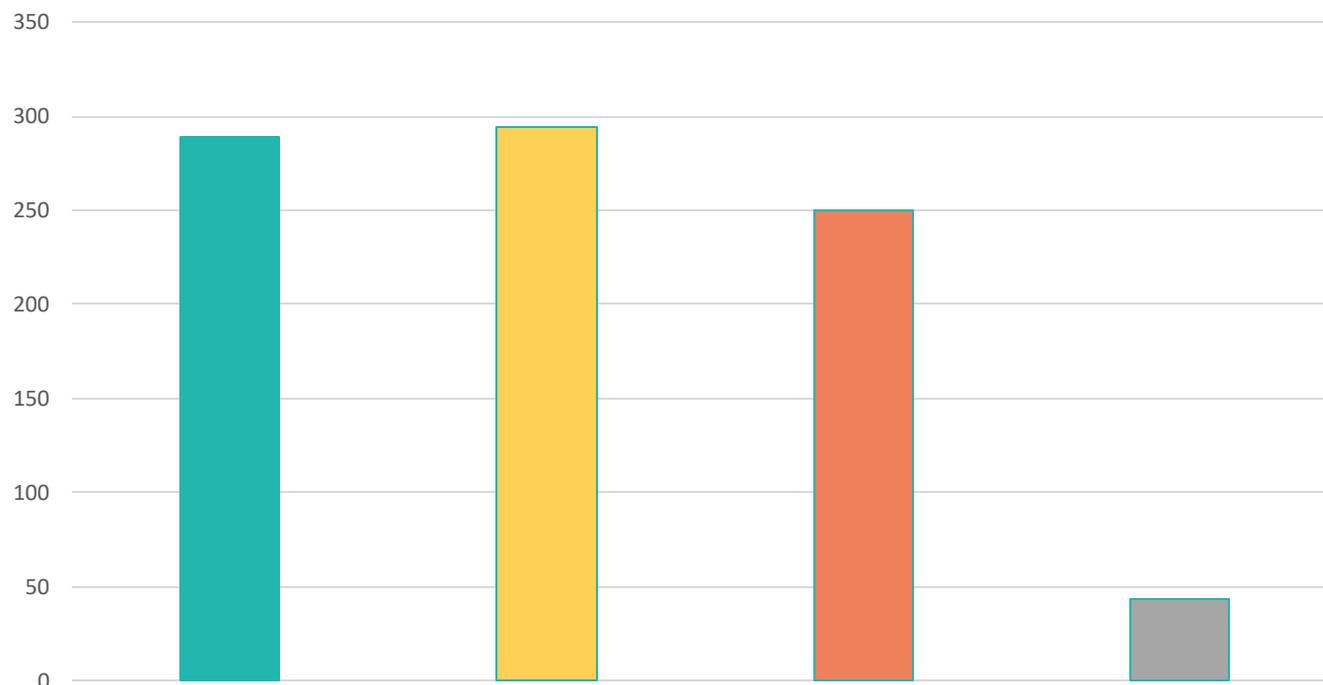


子どもたちが有意義に過ごす  
ために必要なのは

**友達との  
コミュニケーション**

## オンライン活用への期待が広がる

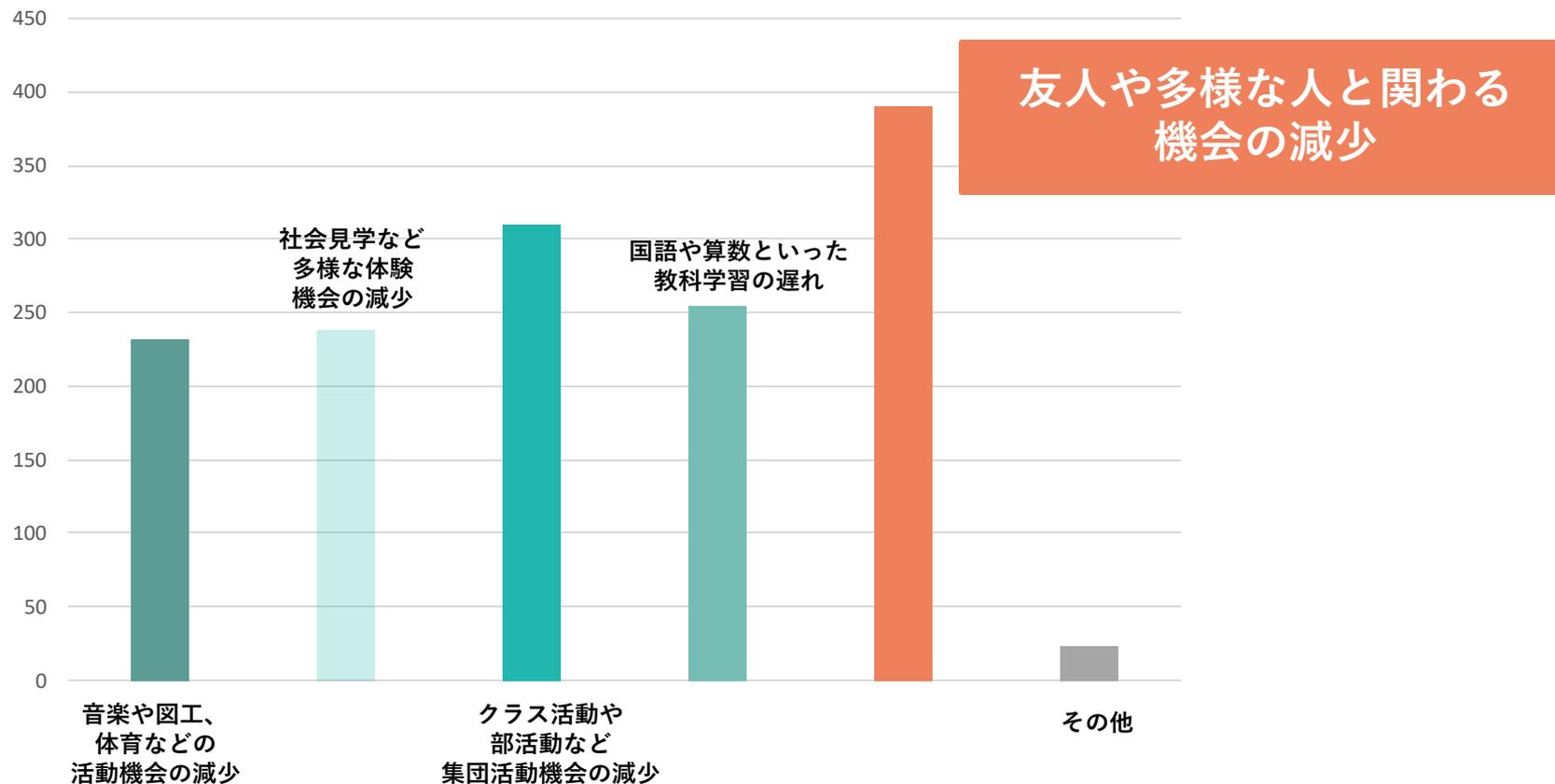
### 【学校再開に向けた期待は何か】(複数回答)



- オンライン活用など通学スタイルや勉強方法が広がる
- 授業スタイルの変化によって子どもが自学学習できる力を養う
- 先生とのコミュニケーション手段が増える
- その他

短期的には学習の遅れ等も心配だが、長期的に見て  
子どもに必要なのは“**友達・多様な人との関わり**”

【今後も「学校に集まって授業をする」ことが難しい場合の心配事】(複数回答)



# 今後について期待や不安

## 〈子どもの心身の健康〉

- ・高学年の娘は、ストレスのせいか下痢や腹痛が増えました。3月から友達とも会えず、メンタルが心配。（神奈川県横浜市）
- ・どうしても家にいると「●●しちゃダメ」と行動を制限したり、親の私たちもあたりがきつくなってしまう。それによって子どもがメンタル的にやられてしまわないか…と気を揉んでしまいます。また以前より頻繁にハグを求めたり、トイレの回数が増えたり、言葉にしないまでも不安定になっているように思います。（東京都練馬区）

## 〈学習面〉

- ・地域、学校毎の取り組みの差が今後学力その他の能力の差を生む可能性があることが心配。（埼玉県さいたま市）
- ・我が家の子どもたちは公立小ながらオンラインを活用した双方向のコミュニケーションが学校ととれていたり、習い事もオンライン化対応が早かったりと恵まれた環境にありますが、一方で何でもかんでもオンラインとなることに子ども自身が違和感を感じることもあるようです。特に、英語等の勉強などではオンラインレッスンでもあまり違和感はないようですが、【→次頁に続く】

## 今後について期待や不安

【前頁より続き】

五感を使った体験型のお稽古事は対面ならではの伝わるものが多く、オンラインの限界も感じています。また、学校の課題、通信のオンライン家庭学習教材、習い事などが全てオンラインとなると一日中かなりの時間をタブレットの前に拘束されることになり、それにも窮屈さを感じているようで、オンライン生活3週間を経て少し習い事を整理するべきかと考え始めています。送迎の負担や移動のタイムロスがないなどのメリットももちろんあるのですが…。娯楽もゲームや映画視聴などとなってくると、流石に親子でお腹いっぱい。読書もオンラインコンテンツが増えているものの流石に紙で読ませたいなという気持ちになっています。（東京都渋谷区）

### 〈家庭内だけで抱える不安〉

- ・子どもとの過ごし方がわからない。（福岡県篠栗町）
- ・勉強はして欲しいが、強要はしたくない。子どもとどう接すればいいの分からない。長期の親子の密着した環境をいいものにしたいが方法が分からず空回りしている。（群馬県太田市）

## 今後について期待や不安

### 〈人とのつながりが必要〉

- ・子どもに一番大事な”たくさん友達と遊ぶこと””学校で学ぶこと”が今全くできていない状況下、子どもの得る経験値がほぼゼロに近い毎日。（中略）友達、先生とのコミュニケーションも絶たれてしまっています。授業でなくてもいいので、一日10分でも担任の先生とオンラインで雑談でもできればな、それだけでも子どもって嬉しいのにな、 と思います。（埼玉県新座市）
- ・やはり子どもたちにとっては、友達と遊ぶことが一番の楽しみでもあり、学びでもあるので、その機会を早く作ってあげたいです。また、これからの時代はやはり共に生きるということが大事になると思うので、ともに何か課題をこなすという体験もさせてあげたいです。（東京都東久留米市）
- ・友人との付き合いから生まれる社会的な勉強が不足してしまうことが心配です。（京都府京都市）

# 今後について期待や不安

## 〈社会の変化を期待〉

- ・短期的には学習の遅れなどを心配していましたが、長期的になってくると、様々な体験機会の逸失によって、その年齢ならではの精神的な発達、価値観の成長など、心の面での成長がより心配になってきます。（中略）今後コロナと共生するにあたって実体験としての学びや交流と、オンラインをどのように組み合わせたいのか、色んな可能性を探っていきたい。（東京都渋谷区）
- ・他者と協働しながら新たな価値を生み出していく力が求められていく子どもたちにとって、人との繋がりが絶たれているこの危機的状況を、大人たちがどのように受け止め、今後社会を変えていくことができるか、知恵を出し合いより良い社会にしていきたいです。今回、未知の状況に対して公教育の脆弱性も強く感じました。国、自治体、教育委員会、現場…と指示がおりてくるまでに時間がかかりすぎています。より柔軟な対応を求めます。（神奈川県川崎市）